

高岡農林振興センター要覧

～ 「持続可能な農林業」と「豊かで美しい農山村」の実現をめざして ～



令和7年6月

富山県高岡農林振興センター

(<https://www.pref.toyama.jp/1632/sangyou/nourinsuisan/1632/index.html>)

○管内の概要



管内は、県の北西部に位置し、高岡市、氷見市、小矢部市、射水市の4市で構成されています。

その地形は大きく三つに分けられ、管内中央部は、庄川をはじめとした大小多数の河川により形成された扇状地、管内東部は、沖積層の軟弱地盤からなる低平地で形作られた沖積平野、管内西部は500m以下の山々が連なる丘陵地がそれぞれ広がっています。

管内の総面積は、約68,300haで県土の16%を占めています。人口は、32万人で県の総人口の32%となっています。

○農業の担い手の現状

集落営農などの組織化・法人化等に対する各種施策や農地中間管理機構の活用により、認定農業者や集落営農組織が着実に育成され、担い手への農地の集積率は72.4%となっています。特に、小矢部市82.4%、射水市86.7%と担い手への集積が進んでいます。

また、集落営農組織は、239組織育成され、より安定的な法人経営への移行が進み、集落営農法人は176法人となっています。

	農業経営体			認定 農業者	認定 新規就農者	集落営農 (組織)	農業法人 (内集落法人) (法人)	担い手 集積率 (%)
	(経営体)	個人経営体 (経営体)	団体経営体 (経営体)					
高岡市	1,445	1,348	97	114	12	65	81(49)	69.3
氷見市	713	652	61	65	5	43	37(20)	49.6
小矢部市	549	469	80	71	1	61	64(50)	82.4
射水市	458	374	84	97	3	70	68(57)	86.7
管内	3,165	2,843	322	353 ¹⁾	21	239	250(176)	72.4
県全体	12,356	11,331	1,025	1,496	96 ²⁾	680	815(469)	71.0
対県比率(%)	26	25	31	24		35	31(38)	

※農業経営体は2020農林業センサス

1)県・国認定の管内分(6経営体)含む

2)令和5年度末

※認定農業者は各市、県農業経営課調べ(R6年度末)

※認定農業者、認定新規就農者、集落営農、農業法人、担い手集積率は県農業経営課調べ(R6年度末)

○農地・農業基盤施設の現状

管内のは場整備率は72.6%で、県平均(86.0%)に比べると低くなっていますが、近年では、省力・低コスト生産を目的に1ha区画以上の大規模は場整備を推進しています。

また、基幹的農業用水路については、老朽化による漏水、地域開発に伴う排水の増加等に対応した水路の整備を実施しています。

	総面積 (ha)	耕地面積 (ha)	は場整備率 (%)		
			田	畑	
高岡市	20,958	5,170	5,040	130	88.6
氷見市	23,054	3,090	2,730	358	46.9
小矢部市	13,407	3,550	3,440	111	85.3
射水市	10,944	3,610	3,420	195	63.7
管内	68,363	15,420	14,630	794	72.6
県全体	424,754	57,400	54,700	2,720	86.0
対県比率(%)	16	27	27	29	

※総面積は『全国都道府県市区町村別面積調』(国土地理院R7年1月現在)

※耕地面積は『耕地面積調査』(農水省R6年)

※は場整備率はR7年3月県農村整備課調べ

○農業の現状

コシヒカリを中心とした良質米の生産が行われ、令和6年産の水稲作付面積は9,220haとなっています。大麦・大豆は水田農業の基幹作物として作付けられ、令和6年産の大麦作付面積1,144ha、大豆1,025haとなっています。ハトムギは、令和6年産は214ha（対県比率86%）作付けされました（令和6年産の富山県の作付面積250haは全国一）。

園芸作物では、地域の特色を活かし、白ねぎ、軟弱野菜、チューリップ球根、なし、りんご等が生産されています。また、省力機械化体系が確立した品目のえだまめ、加工用キャベツや小ギクでは、実需者との契約的取引を行っています。一方、青ねぎ、チューリップ等の球根切り花、アスターや醸造用ぶどう等の新たな産地づくりも進んでいます。

	水稲	大麦	大豆	ハトムギ	白ねぎ 青ねぎ	にんじん	キャベツ	チューリップ		なし	りんご	醸造用 ぶどう
								球根	切り花			
高岡市	3,250	340	357	45	1.2	11.2	11.0	2.3	2.0	0.4	5.3	0
氷見市	1,580	37	2	35	10.0	0.1	0	0	0	0.6	6.4	14.0
小矢部市	2,210	242	213	134	1.7	1.0	6.2	0	0	0	3.4	0
射水市	2,180	525	453	0	5.0	0.4	4.0	0	0	9.8	3.6	0
管内	9,220	1,144	1,025	214	17.9	12.7	21.2	2.3	2.0	10.8	18.7	14.0
県全体	35,000	3,660	4,550	250	76.0	68.0	42.0	38.9	5.1	135.0	77.0	36.2
対県比率(%)	26	31	23	86	23.6	18.7	50.5	5.9	39.2	8.0	24.3	38.7

※水稲、大麦、大豆は作物統計調査(農水省R6年)

※その他は、県農産食品課及び農林振興センター調べ(R6年)

○森林の現状

管内の森林面積は約27千haで、森林率は40%と県平均の67%を下回っています。

一方、民有林の人工林面積は11千haで、人工林率は39%と県平均の28%を上回っています。

また、地形が緩やかなことから民有林の保安林率は10%と県平均の52%と比べて著しく低くなっています。管内は、地質の大部分が固結度の低い新生代・新第三紀層であるため、これまでも地すべり被害が多く発生しています。

	森林面積 (ha)					森林率 (%)	民有林中の面積・割合			
		国有林 (ha)	民有林 (ha)	公有林 (ha)	私有林 (ha)		人工林 (ha)	人工林率 (%)	保安林 (ha)	保安林率 (%)
高岡市	6,690	27	6,663	191	6,472	32	2,453	37	950	14
氷見市	13,488	66	13,421	293	13,128	59	4,817	36	995	7
小矢部市	5,910	28	5,882	108	5,774	44	2,955	50	746	13
射水市	1,190	10	1,180	59	1,121	11	447	38	16	1
管内	27,278	131	27,147	651	26,496	40	10,672	39	2,707	10
県全体	285,311	105,495	179,815	29,713	150,102	67	51,231	28	92,688	52
対県比率(%)	10	0.1	15	2	18		21		3	

※富山県森林・林業統計書(R5年3月末 森林政策課調べ)

○林業の現状

当センターでは、県産材の利用促進を図るために安定供給体制の整備を進めています。

管内の県産材素材生産量は3.3万m³と県全体(10.5万m³)の約3割を占め、県内の主要な生産地となっています(管内の人工林面積は県全体の約2割)。

一方、森林組合や林業事業体で森林整備に従事している管内の林業の担い手数は100名(県全体では430人)と決して多くありません。人手不足が進む中、林業の担い手の確保、定着が課題となっており担い手支援の取り組みを進めています。

また、森林ボランティアや企業との連携による県民参加の森づくりを推進するなど、多様な森づくりにも取り組んでいます。

○主な活動内容

当センターでは、管内農林業の振興をソフト・ハードの両面から一体的かつ効率的・重点的に推進し、持続可能な農林業と豊かで美しい農山村の実現を目指しています。

○担い手の育成・確保と生産基盤の整備

認定農業者や集落営農法人など地域農業を支える多様な担い手の育成・確保、規模拡大や経営の複合化などによる経営力向上と経営基盤強化、農地の大区画化・汎用化、農業水利施設の保全・高度化など優良な農業生産基盤の確保を推進しています。

林業では、森林組合や林業事業体の事業体での研修や OJT 等による担い手の育成・確保を推進するとともに、森林作業道等の整備や高性能林業機械の導入を進めています。

生産基盤整備の取り組み(令和6年度)			
経営体育成基盤整備事業	15 地区		
水利施設整備事業	4 地区		
林業専用道(規格相当)	1路線	0.3km	
森林作業道	30 路線	44.6km	



担い手育成の基盤となる大区画ほ場
(射水市島)



森林整備に活用される森林作業道
(射水市串田)

○地域を守る防災対策の推進

近年の集中豪雨の発生や都市化の進展等による溢水被害を未然に防止し、地域住民の暮らしの安全確保、農業経営の安定及び生産効率の向上を図るため、排水路等の整備を進めています。また、当センター管内には県内の約8割の農業用ため池が存在することから、ため池が決壊した場合の下流域への影響等を踏まえ、計画的に豪雨・耐震化対策の整備を進めています。

また、土石流、土砂崩れ、地すべりなどの災害から住民の暮らしを守るため、治山ダム、法面保護工、地すべり対策などの事業を実施しています。

防災対策の取組み(令和6年度)	
ため池整備	11 地区
国営附帯県営農地防災事業	2地区
用排水施設整備	2地区
地すべり対策事業	4地区



(整備前)



(整備後)

農地の湛水被害を未然に防止する用排水路整備
(小矢部市島)



決壊を未然に防止する防災重点農業用ため池の整備(射水市黒河新)



(復旧前)



(復旧後)

荒廃溪流の復旧工事(高岡市福岡町加茂)

○農林産物のブランド化と地産地消の推進

①消費者に求められる競争力のある米・麦・大豆の生産

田植え時期の繰り下げや地力に応じた基肥施用、早めの中干し等の徹底による高品質で食味の良い米づくり、水田フル活用等による麦・大豆の生産拡大を推進しています。

特に米づくりでは、実需者ニーズが高まっている「富富富」の収量・品質・食味の向上と面積拡大を目指し、生産者登録制により栽培管理の徹底を図っています。

また、農業の生産力向上と持続性の両立をスマート農業等の新たな技術で実現させることを目標に、環境負荷低減に向けた取り組みを推進します。



富富富の高品質・良食味生産



直進アシスト可変施肥田植機



スマートフォンで制御可能な自動給水栓

②園芸作物の生産拡大

園芸作物の生産拡大、収益向上に向け、産地の目指す姿やその実現に向けた取組みを定めた「稼げる！園芸産地プラン」の策定を市町村など関係機関とともに進め、プランに基づき産地をけん引するリーディング経営体を重点的に指導するとともに、畑地化やスマート農業技術の導入による先駆的な高生産性モデルの実証、農業支援サービスによる労働力確保体制の確立、園芸産地での人材確保・育成体制の強化等を推進します。

卸売市場や流通業者等と連携した生産者と実需者とのマッチングによる販路開拓や需要に応じた生産・加工に係る機械・施設の導入支援など、生産から流通・販売までを一貫的に支援し、園芸産地の育成を図ります。

主な地域振興品目（R6）

	JAいみず野	JA高岡		JA氷見市	JAいなば
	えだまめ	軟弱野菜	チューリップ切り花	白ねぎ	加工用キャベツ
栽培面積	40ha	12ha	204a	10ha	12.5ha
出荷量	65t	109t	2,547千本	156t	393t
販売額(千円)	52,592千円	35,525千円	197,285千円	60,859千円	18,433千円



にんじんの選別



加工用キャベツの収穫



ドローンによるえだまめ防除



白ねぎの収穫



小ギク電照(LED)栽培



ニーズが高まる醸造用ぶどう



りんごの出荷目揃え会



環境制御システムを導入したトマト栽培

③県産材の安定供給

林業では、間伐等の森林整備や計画的な主伐を推進し、県産材の安定供給を図っています。

県産材の供給状況(R6)

主伐面積	40ha
搬出間伐面積	92ha



県産材の供給(主伐)
(氷見市桑院)

○農村環境の整備と中山間地域の活性化

- ・中山間地域等直接支払制度を活用し、中山間地域で農業生産活動が継続的に行われるよう、集落の活動体制の維持・強化を推進しています。
- ・多面的機能支払制度を活用し、地域ぐるみの水路・農道等の保全管理活動等を推進しています。

中山間地域等直接支払制度及び多面的機能支払制度の取組状況

	中山間地域等直接支払制度 (R5)		多面的機能支払制度 (R6)	
	交付面積 (ha)	交付面積率 (%)	取組面積 (ha)	取組面積率 (%)
高岡市	140	97	4,100	91
氷見市	557	78	1,964	54
小矢部市	232	99	3,006	89
射水市	94	100	3,039	91
管内計	1,022	86	12,109	81
県全体	4,942	84	41,305	74
対県比率(%)	21		29	



多面的機能支払制度を活用した
水路の江ざらい(高岡市荒見崎)



閉校プールのビオトープへの再生
(氷見市久目)

- ・中山間地域チャレンジ支援事業等による地域資源を活用した生産・地域活動や、週末とやま農村 Life 等の都市・農村交流の取り組みを支援しています。
- ・イノシシによる農作物被害を防止するため、「集落環境整備」、「侵入防止対策（電気柵の設置等）」、「捕獲対策」の3つの対策に地域ぐるみで総合的に取り組まれるよう支援しています。



週末とやま農村 Life でのメロン
栽培体験(氷見市速川)

鳥獣被害防止対策

	イノシシによる被害金額(万円)		電気柵整備 R6累計(km)
	R5	R6	
高岡市	129	79	292
氷見市	426	536	916
小矢部市	231	216	296
射水市	3	38	79
管内計	789	869	1,584
県全体	3,350	3,371	3,419
対県比率(%)	24	26	46



地域ぐるみでの鳥獣被害防止に
向けた研修会の開催
(小矢部市石坂)

○多様な森づくり

水と緑の森づくり税を活用し、

- ・地域ニーズを反映した多様な里山林整備
- ・人工林に侵入した竹林の整理や再生竹の整理による針広混交林への誘導
- ・「企業の森づくり」活動など県民参加による森づくりを推進しています。

項 目	R6 年度
里山林の整備	整備面積 144ha
混交林の整備	整備面積 62ha



里山林における竹林整備
(氷見市余川)



企業による森づくり活動
(高岡市福岡町五位)

●災害復旧対策

令和5年7月12日～13日にかけて発生した豪雨災害では、管内の最大24時間雨量が211mmを記録し災害が多発したほか、令和6年能登半島地震においても管内では農地の畦畔・法面の崩壊(41箇所)、農業用施設の水路・農道の決壊(115箇所)、林道等(31箇所)の被害が発生しました。

当センターでは、氷見市や小矢部市などと連携し、災害復旧を支援しました。

災害時

高岡市勝木原



法面が崩壊し水路が閉塞

復旧後



田・水路の復旧

氷見市岩瀬
(岩瀬老谷線)



林道の路肩が崩壊



林道の復旧

射水市沖塚原



白ねぎ栽培ほ場が冠水



排水対策・防除指導

管内特産品マップ



◎高岡農林振興センター組織機構及び各課・班電話番号

課 名	班 名	電話番号	課 名	班 名	電話番号
総務課	総務班	26-8440	指導課	計画班	26-8444
	用地班	26-8441		指導班	26-8443
企画振興課		26-8448	農村整備課	水利防災第一班	26-8446
管理検査課		26-8442		水利防災第二班	26-8447
担い手支援課	経営支援班	26-8474		農地整備班	26-8449
	園芸振興班	26-8476	森林整備課	林政・普及班	26-8454
農業普及課	高岡班	26-8477		治山・林道班	26-8452
	小矢部班	26-8480	(市外局番は 0766)		
	射水班	26-8478			
	氷見班	26-8481			